

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、『小学校学習指導要領 体育』の各領域の内容構成を理解するとともに、授業構成に向けての基礎的・基本的知識を理解し、体育授業を行う基本的な能力を身に付けることを目的とします。

各領域の授業を構想し演習(体育実技)を通して、教員に求められている実践的指導力の基礎を培うとともに、集団的活動を通して仲間と協力する態度や思考力、コミュニケーション能力を高めます。

2. 授業の到達目標

- *各領域の内容構成について説明できる。
- *基礎的・基本技能を習得し、実技指導に必要な模範を示すことができる。
- *指導に必要な安全管理(リスクマネジメント)について説明できる。
- *研究協議等に積極的に参加し、相互評価することができる。
- *指導者(教員)としての資質向上を図るための実践力を有している。

3. 成績評価の方法および基準

- *授業実施回数の2/3以上の出席を必要とする。
- *授業への取り組み状況:リフレクションシート、レポート等提出物 40%
- *技能:領域種目の実技テスト 60%

4. 教科書・参考文献

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考文献

文部科学省 『小学校学習指導要領解説「体育編」』 東山書房

文部科学省 『小学校体育(運動領域)まるわかりハンドブック』

岩田靖 吉野聡 日野克博 近藤智靖 編著 『初等体育授業づくり入門』 大修館書店

5. 準備学習の内容

- ①「主体的・対話的で深い学び」を実践する授業です。各領域の内容や練習方法について事前学習に努めること。
- ②個人の基礎技能を高めるために、授業以外にも基礎体力の向上や実技練習に心がけること。
- ③配布した資料等必ずファイルに綴じて、自習に努めること。

6. その他履修上の注意事項

- ①指導者を意識した服装・態度で臨み、積極的、主体的に学習すること。
- ②人と人のかかわりを大切に、「共に学びあい・高めあい」の雰囲気醸成に努めること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション 授業の進め方、運動領域の構成と安全管理等について学ぶ
- 【第2回】 体づくり運動系領域①:「体ほぐしの運動」「多様な動きをつくる運動」「体の動きを高める運動」の理解と実技
「整列・集団行動」「ラジオ体操」
- 【第3回】 体づくり運動系領域②:「体ほぐしの運動」「多様な動きをつくる運動」「体の動きを高める運動」の理解と実技
- 【第4回】 器械運動系領域①:「マット運動」「跳び箱運動」の理解と実技
- 【第5回】 器械運動系領域②:「マット運動」「跳び箱運動」の理解と実技
- 【第6回】 陸上運動系領域①:「短距離走・リレー、ハードル走」「走り幅跳び」「走り高跳び」の理解と実技
- 【第7回】 陸上運動系領域②:「短距離走・リレー、ハードル走」「走り幅跳び」「走り高跳び」の理解と実技
- 【第8回】 水泳運動系領域①:「水遊び」「クロール」「平泳ぎ」の理解と実技
- 【第9回】 水泳運動系領域②:「水遊び」「クロール」「平泳ぎ」の理解と実技
- 【第10回】 ボール運動系領域①:「ボールゲーム、鬼遊び」「ゴール型、ネット型、ベースボール型」の理解と実技
- 【第11回】 ボール運動系領域②:「ボールゲーム、鬼遊び」「ゴール型、ネット型、ベースボール型」の授業構想と演習
- 【第12回】 ボール運動系領域③:「ボールゲーム、鬼遊び」「ゴール型、ネット型、ベースボール型」の授業構想と演習
- 【第13回】 表現運動系領域①:「表現」「リズムダンス」「フォークダンス」の理解と実技
- 【第14回】 表現運動系領域②:「表現」「リズムダンス」「フォークダンス」の授業構想と演習
- 【第15回】 各領域のまとめとよい体育授業について探究する
履修内容のリフレクション